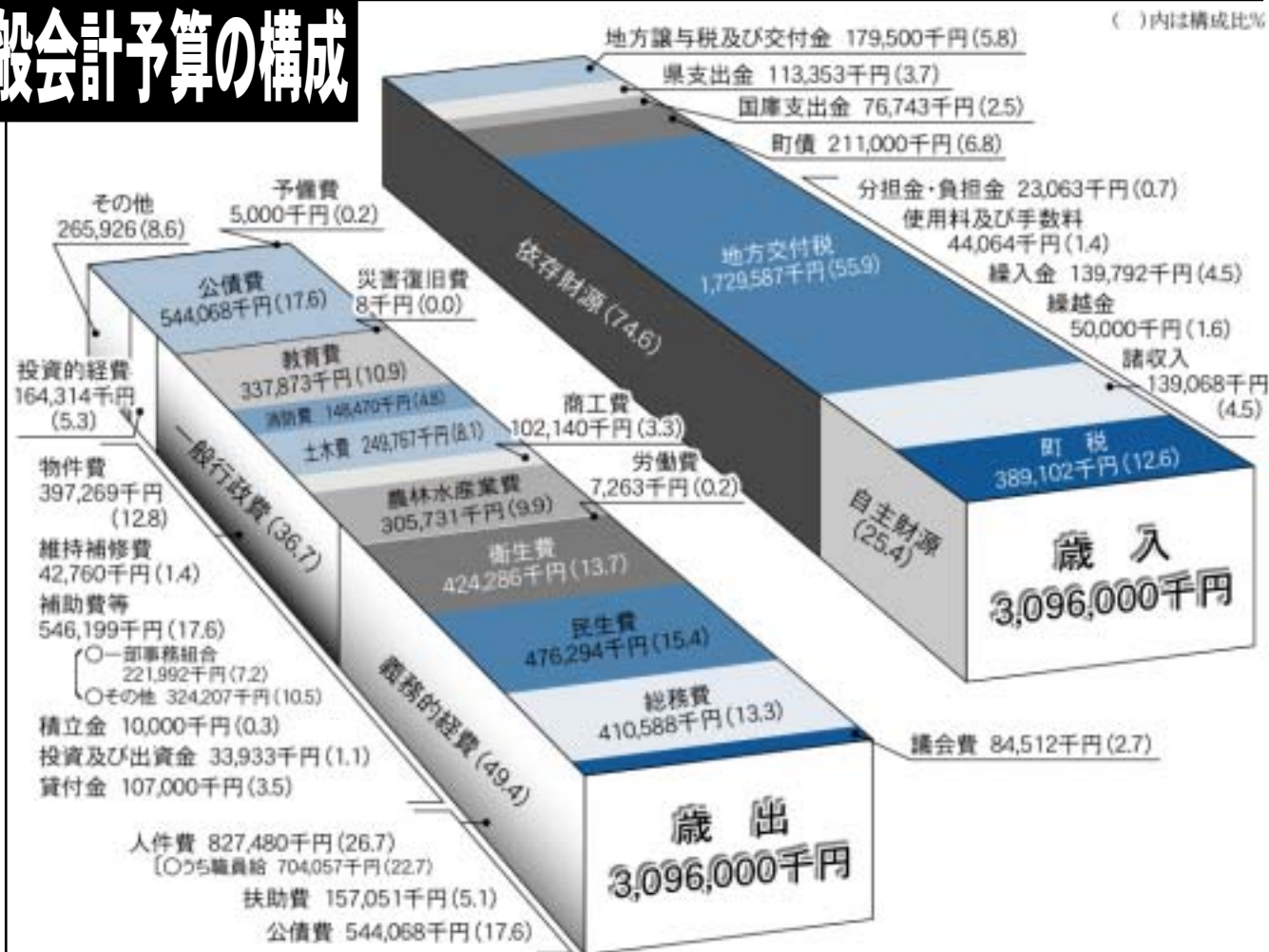


# 一般会計予算の構成



平成18年度会計別予算 (単位:千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	
			予算額	増減額(%)
一般会計	3,096,000	3,125,000	△ 29,000	△ 0.9
特別会計	(163,259)	(104,787)	(58,472)	(55.8)
国民健康保険特別会計	657,100	673,260	△ 16,160	△ 2.4
老人保健特別会計	602,700	671,430	△ 68,730	△ 10.2
介護保険特別会計	433,400	400,120	33,280	8.3
路線バス事業特別会計	17,600	14,050	3,550	25.3
農業集落排水事業特別会計	59,000	58,500	500	0.9
公共下水道事業特別会計	144,390	147,800	△ 3,410	△ 2.3
水道事業会計	(112,539)	(51,349)	(61,190)	(119.2)
町立病院事業会計	(50,720)	(53,438)	(△ 2,718)	(△ 5.1)
計	(163,259)	(104,787)	(58,472)	(55.8)

( ) 内は資本的支出。 ※△はマイナス。

# 総額 57億7966万円 平成18年度 予算

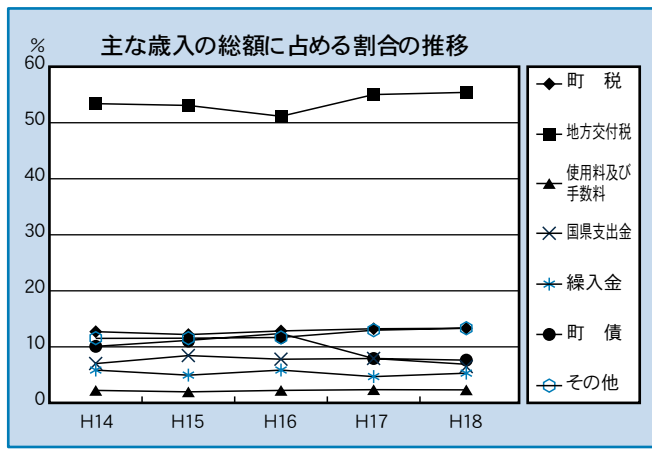
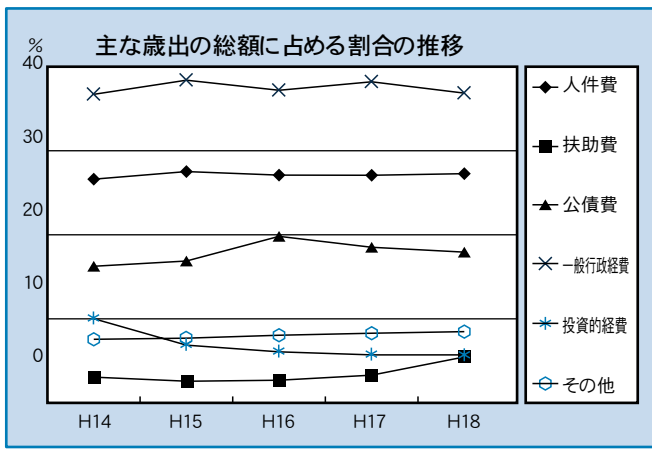
## 一般会計は 30億9600万円

経済産業情勢やいわゆる「三位一体の改革」の影響で、わが町にとっても、大変きびしい財政事情が続きますが、限られた財源で、より効果的・効率的な行政運営が求められております。

- 平成18年度の予算は、住民の目線に立った現場主義を基本に、町民の声を考えを直接確認することで、行政需要を的確に把握するとともに、町職員が一丸となってプラス志向で知恵を
- 平成18年度の予算は、町の総合発展計画の達成をめざして、町民の理解と共感が得られる施策の展開に必要な額を計上し、次の4本を柱にして、ソフト事業に重点をおきながらも、必要なハード事業にも可能な限り措置した結果、前年並みの予算規模を確保し、次に掲げる重点事業を始めとする施策を展開していきます。
- 1 人材育成
  - 2 健康づくり
  - 3 産業振興
  - 4 定住・交流促進

### 重点事業

■人材育成  
町の次代を担う、社会力と公益力を持つ人間性豊かな人材を育成するため、昨年創設された「かねやま清い心



特別会計 26億3366万円

8つの特別会計全体では、3・6%の減額となっております。(公営企業の下水道会計と病院会計は収益的支出)

■国民健康保険  
老人保健会計の医療給付費の減少が見込まれるため、同会計への拠出金が減少しています。

■老人保健会計  
受給者数の減少に伴う医療給付費の減少が見込まれています。

■介護保険会計  
介護予防重視型への制度改正に伴い増加しています。

■路線バス事業会計  
老朽化した車両を更新するために増加しています。

■農業集落排水事業会計、公共下水道事業会計、水道事業会計、町立病院事業会計は、それぞれ収益の確保とともに、経費節減に努めることで、前年度並み又は減少になっています。

■公営企業会計の資本的支出  
水道事業会計では、緊急時用連絡管の整備に着手するために大幅な増加になっていますが、町立病院事業会計では、医療機器等の整備更新の予定はなく事業債の償還額が減少します。

平成18年度予算の詳しい説明と事業の内容は、4月14日に配布予定の「町の主要施策・町づくりノート」にも掲載しますので参照ください。

■健康づくり  
町民の健康増進と健康長寿の拡大を目標に、一人ひとりが元気で生き生きと暮らせる、元気のある町づくりを引き続き展開します。健康づくりの大きな要素ともいわれる「心の健康」と「食育」を重点にした事業を積極的に実施します。

■産業振興  
平成19年度の農政の大転換に向けた対応を図ります。

平成17年度から始まった「単独ほ場整備モデル事業」の拡大を始めとする施設整備補助の継続、二つに続く園芸作物の振興や金山産物の高付加価値化と販路拡大、消費者の信頼を得られるモノづくりを推進します。

■定住化対策  
若年・生産現役世代の定住環境の整備を目的とした「宅地適地化調査事業」を引き続き実施します。

また、定年退職時期を控えたいわゆる団塊の世代の人々の農山村志向をねらい、第2のライフステージとして「金山暮らし」を売り込み、定住者や交流人口の拡大を図るための「S+U+I」と「かねやまプロジェクト」を新たに展開します。

■まちづくり事業

平成17年度に実施した役場付近の電線地中化基礎調査に基づく、構想計画策定への着手と、街並み景観条例に基づく新築・改修等への補助や下水道処理区域外の合併処理浄化槽設置補助を継続して実施します。

■少子化対策支援  
従来から実施してきている多子出産祝金・入学祝金に加え、第3子以降の保育園・幼稚園の保育料等の助成による多子家庭の育児支援を行います。

■教育振興  
学校教育の教育指導員の配置を継続し、少子化時代における「新・適時適育」の振興と、「中高一貫教育」のさらなる充実をめざすと同時に、幼児・児童・生徒の安全確保を充実します。

また、「特色ある学校づくり」のための補助など各小中学校の教育実践を支援します。

社会教育では、生涯学習や芸術文化活動の充実と、青少年の健全育成をさらに推進するとともに、ボランティア活動組織を育成・支援します。

■スポーツ振興と体力づくり  
町民一人ひとりの健康体力づくりを基本に、「健康ふれあいスポーツクラブ」の強化による、地域ぐるみや職場などの組織的なスポーツを奨励し、さらには競技力の向上を図ります。